

岡崎市長 殿

岡崎市議会議員 築瀬 太

おかざき未来”夢”プロジェクト 『基本的人権と子ども』ラウンドテーブル「提言書」

岡崎市議会とは人間環境大学と共催で「基本的人権と子ども」を主題とし、意見交換会を開催しました。

本市においても各種団体との連携により「子どもの人権」を守るための取り組みが行われていますが、他市では「子どもの権利条例」を定め、市民によりわかりやすい形で取り組みを進めている事例があることもわかりました。

また、意見交換会では、一人ひとりの経験を振り返った上で、子どもの基本的人権を守るために必要な対策や制度のあり方を話し合いました。そこで得られた内容をまとめ、次のとおり提言いたします。ぜひ、今後の参考にしてください。

提言：子どもの人権を守る3つの場所(家庭、学校、地域)で3つの対策の強化

(1) 家庭における公的支援の強化

家庭における愛情、教育が最も大切であるからこそ、家庭内における暴力は子どもにとり大きな傷となる。そこへの介入は、難しい側面もあるが、児童相談所や警察、地域の力を結集し、子どもが暴力に晒されることのないよう努められたい。

● 児童相談所等の支援と市の相談機能の強化

(2) 学校における権利の保護と啓発

学校生活における権利の侵害と思われる意見が多数でした。校則の決め方や、その運用。いじめ。差別。体罰。これらの対策のため生徒会をはじめとした自治の見直し、いじめ対策の強化、多様性への理解、啓発に努められたい。

- 学生による自治の見直し
- いじめ対策の強化
- LGBTへの理解の促進

3つの対策を繋げること
でよい岡崎に!

(3) 地域社会における子どもの権利

公園の利用方法における禁止事項に関し、子どもたちの意見も取り入れて欲しいという意見があった。SNSの活用など、手軽に子どもたちからも相談、意見を言える環境の整備に努められたい。

● SNSを利用した手軽な相談窓口の設置